

シート番号	6107-03	名称	石段標
分類	社寺奉賽物	場所	坂田 坂田 1182 付近
小分類	社寺奉賽物	メッシュ番号	1623
年号	和暦：天明7年9月吉日	西暦	1787年
形状	角柱型		
サイズ	左側：24×14×12 cm 右側：28×14×12 cm		
画像番号	6107-03-01 (左)	画像番号	6107-03-02 (右)
 <p>天明七丁未 九月吉日</p>		 <p>願主 大前氏</p>	
<p>コメント；</p> <p>元禄一四年（一七〇一）の坂田村絵図には現在地に森が描かれ、また文政二年（一八一九）の絵図には森とともに社までも描かれてそこに「御霊様」と記されています。この宮には改修以前天明八年（一七八九）に大前氏によつて奉納された房州石で作られた石段がありました。この大前氏とは、江戸期に坂田村の名主を務めた大牧氏（現在は絶家）のことで、大牧氏は一時大前氏を名乗ったことがあります。そしてこの石段を奉納した時代の同家の当主は八代目の産科医（子を大牧周西と称した）としても有名な大牧明敬新佐衛門（文政七年八月四日没）でした。地元に残された逸話によれば、大牧家では天明の飢饉で周辺の農民が苦境に追い込まれていたことを見かね、自らの蔵を開き周辺の農民の救済に当たったと言います。</p> <p>（御霊様の由来より）</p>			